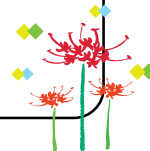




## 9月の主な行事

1日 : 防災の日	13日 : 世界法の日
2日 : 宝くじの日	20日 : 敬老の日、空の日
8日 : 白露	22日 : 中秋の名月
9日 : 重陽の節句、救急の日	23日 : 秋分の日
	29日 : クリーニングの日



## 今月のかわら版 : 1 「 香り 」



9月になると足早に秋がやってきます。北海道ではさわやかな秋晴れの日が多くなりますが、本州付近では、残暑の後に秋の長雨となるところが多くなります。秋雨は夏前の梅雨とともに日本の雨期のひとつ。上手に気分転換をして過ごしたいですね。

手軽にできるリフレッシュ方法に「香り」があります。コーヒーなどの飲み物や柑橘類の香りに、フツと気分が変わることもありますね。花やハーブの他にも、近年ではさまざまな香りの商品が手に入り、好みの香りや効能を楽しむことができます。

アロマセラピーは、精油成分が嗅覚を介して脳に働きかけることで自律神経を整え、身体の機能を調整する自然療法です。心地よい香りが楽しい記憶を引き出したり、気持ちが落ち着いたりという心理的な効果もあることから医療の場にも取り入れられています。

においては感情にうたえる力があり、その種類は400万種類以上あるといわれます。従来の視覚や聴覚ではなく「嗅覚」に訴えかける「においビジネス」も広がっています。

例えば、ショールームや衣料品店で、ヒノキや柑橘などの香りを流してブランドイメージを演出したり、スーパーマーケットの食品売り場で、カレーのにおいを再現して流す装置を置いて食欲を誘うなど、香りの広告が身近な例です。

また、ある進学塾では、「機能性アロマ」を使用して記憶力を高める試みが始まっています。機能性アロマには、他にも、禁煙を手助けする効果や、抗菌・防カビ、花粉やインフルエンザを抑制する効果があるとされ、商品化が進んでいます。

一方で、現代人のおいしさの感覚は、小さい頃から消臭文化の影響を受けて人工成分になじんでいると懸念する声もあります。ある大学の教授が小学生を対象に、香料つきと香料なしのどちらを好むかを実験したところ、香料つきの方が圧倒的に人気があったそうです。人工的な香りは、そのものが持つ特徴的なにおいが作り出されていますが、自然の香りはさまざまな物質が組み合わせられて生まれたものです。



秋雨が過ぎた頃、自然の香りを確かめに外へ出かけてみませんか。

## 今月のかわら版 : 2 「 防災の日 」

9月1日は防災の日です。防災対策について家族で話し合ったり、実際に確認・行動してみましょう。

- 非常用品の準備・見直し
  - ～実際の災害時に役に立ったもの（一例）～
  - 懐中電灯 ○小型ラジオ ○飲料水 ○保存食 ○カセットコンロ
  - ラップ ○作業用手袋 ○ポリ袋 ○ウエットティッシュ○小銭
  - タオル ○工具（ナイフ類）など
  - 保存食や水の賞味期限、常備薬や乾電池等、古くなっていませんか？
  - 保存食や水（1人1日3リットル）は3日分を目安に備えましょう。
  - 懐中電灯や小型ラジオなどは、手を伸ばせばすぐに取りれる枕元に置く等、置き場所についても見直しましょう。
  - 消火器の使い方も確認しておきましょう。



- 家具・食器棚などの転倒防止、ガラスの飛散防止
  - 高いところに重いもの、割れやすいものを置いていませんか？

- 緊急時の避難場所を確認
  - 市区町村指定の広域避難場所等、集合場所を決めておきましょう。
  - 地域の防災訓練にも積極的に参加しましょう。

- 災害用伝言ダイヤル「171」
  - 災害発生時など電話連絡がとりにくい場合に、被災地の方との連絡や安否確認がとれる「声の伝言板」です。携帯電話や公衆電話からも繋がります。「171」をダイヤルすれば、あとは音声ガイドに従って簡単に操作ができます。毎月1日や防災週間には、体験利用が可能です。もしもの時の連絡方法を確認しておきましょう。